

日本共産党

ひめだ高宏ニユース

NO. 92

10.11.24

11/28は知事選の投票日です

今後4年間の県政のかじ取り役を決める知事選挙です。人どくらしを大切にしたいキキ・安心の和歌山をつくる絶好の機会です。決して「だ水がや」でも同じ口ではありません。県政の主人公は県民です。県民の願いを実現させる知事を選ぶため、棄権せずに、みんまで投票に行きましょう。

父子家庭にも児童扶養手当

11月中旬に申請できたら特例で8月分から支給に――児童扶養手当制度は、母子家庭などによって父子家庭の児童に手当を支給する国の制度ですが、8月

フリーの人々



おいさんによく似た
医者に行くと
病気の心配より
先にお金の心配を
しなければならぬ
こんな政治家は
まじかっています

あの方へええもんこの
笑うに笑えん話やけど
うまいにしようナ

就任祝賀会の朱書きを
個別の事案についは
お答えを差し控えます
大臣辞任に
あつての
心算を
あつての
あつての

大臣を辞任した
あの方へバカモンの話
笑うに笑えん話やけど
あんまりにもひどいぞ
笑えんしやあなナ

要件に該当している場合は8月分から、8月/日以降11月30日までに支給要件に該当した場合は、要件に該当した翌月分から支給されます。12月/日以降に申請すると、申請の翌月分からの支給になります。支給要件と所得制限など支給の制限などが決められています。くわしくは市役所東庁舎2階2号も家庭課(435・1219)または、私、ひめだまで。児童扶養手当と同じ所得制限はありますが母子家庭にも父子家庭にも医療費助成制度があります。市窓口は、東庁舎/階医療福祉課(435・1062)です。

日本共産党
南アロック
後援会主催
藤井 雄二 代表
当選を喜ぶ
ゆかいな集い
12月5日(日)
午前11時～午後3時
(昼食代 600円)
会場 三井 三井 三井
会場 センター3階
アルコールも用意済み
(別料金です)
午前の部 藤井 雄二
席の部
午後の部
贈答券、福利
ギョーヒ生語り
沖野 三郎
唄と語り
新婦人商店の手作り品
10分～20分
10分～20分

こんにちは 議員の ふじい健太郎

28日は県知事選挙の投票日です。県民のくらし、福祉を何より大切にしたい。政府に対しては、県民の利益を守る立場から毅然と対応できる人を選ぶ選挙です。しっかりと見極めて投票したいと思えます。12月県議会が11月29日から12月17日までの19日間の会期で開かれます。主な議案は、県人事委員会勧告に基づく職員給与とボーナス(知事議員含む)の減額改定、県



ふじい健太郎
県議会議員

日本共産党 木会議委員 11年度予算要望を市長に提出

- 11月8日に提出した重点項目は次のとおり(要旨)
1. 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)参加による市経済と農業への影響を調査し、政府に参加しないよう意見を上げられたい。
 2. 住宅リフォーム助成制度をはじめとする中小企業の仕事作りや金融対策などの支援策を充実されたい。
 3. 障害者自立支援法の応

- 中止・撤回を国に求められたい。和歌山県広域連合に保険料のすえ置きと独自減免制度を要望されたい。
6. 住宅家賃減免、駐車場の不適正運用、多量も念補助、企業センター補助金など旧同和対策事業は最終とされたい。旧同和住宅の空家募集は一般公募とされたい。
 7. 小学校給食の調理・洗浄業務の民間委託は撤回し、直営にもとされたい。中学校給食の公的責任を明確に
 8. 異常気象がもたらすが、リウ豪雨などの風水害について、災害対策の体制と財政保障を国・県に要望すると共に、市は抜本的に計画を見直されたい。
 9. 学童保育の調査を継続し、計画的に施設建設をされたい。年額5千円の運営費を増額し、遊具や消耗品などに充てられるようにされたい。指導員の待遇改善を早急に図ると共に、保護者の労働実態に見合う開設時間にされたい。
 10. 資源ごみの集回収は、運営基準を見直し集積場所等への支援対策を図られたい。
 11. 子どもの医療費助成制度の対象を中学校卒業まで拡大されたい。
 12. 青年の雇用拡大のため、無料職業紹介事業相談所の周知をはかり、体制を強化されたい。市立高校の就職支援相談員を補充し、また市として高校生の就職希望者への対応策を強められたい。(以上)

こどもたちは 日本共産党 です



民主商工会の全国組織の調べによると、住宅のリフォームに、行政が補助金を支給する制度を実施しているところは、1県(秋田)ノ73市区町

村にも達したとのこと。和歌山県でも「耐震工事」のための改修補助金制度が、日本共産党県議団などの要求でつくられました。一般的なリフォーム補助はありません。「耐震」に限定しているため、申請件数も年間60件程度に過ぎません。秋田県では、今年3月か

ら8カ月で約1万2千件の申請がありました。県補助の上限は20万円ですが、大半の市町村が上乗せ(50万)しています。いろいろな職種に仕事か回るリフォーム補助は地元でお金が循環するのです。経済対策の優等生です。和歌山県でも早く実現したいものです。

短歌

負しける六十年の箔押しに
党は味方と今し思へり
患へば全生涯を異性へと
憧れ出さずる血潮歪みぬ

勝田 鉄也

